

災害対策委員会

1. 目的

防災に関する問題・課題の検討及び職員教育をはかる。

2. 委員構成

委員長 院長

委員 事務長、病棟看護師、外来看護師、リハビリ科職員、薬剤科職員、
食養科職員、病棟介護職員、社会福祉士、医事課職員、放射線科職員、
組織課職員、通所介護職員

3. 活動報告 (2019年度)

<定例会議の毎週火曜日開催>

ケアセンターの病院内への移動に伴う防災計画の見直しを行なった。

<非常放送の点検>

<夏の防災訓練 (8月30日) 介護複合施設の居室からの出火を想定>

・通報訓練開始より火災発見、非常ベルを鳴らす。非常放送を聞き職員が駆けつける。消防署へ通報する。状況の説明。

- ・初期消火開始
- ・初期消火失敗 避難誘導へ全員で参加
- ・避難訓練開始 車椅子利用者の避難1名、杖歩行者の避難1名、歩行器利用者の避難1名、シルバーカー利用者の避難1名、全介助の利用者1名、重度認知症の利用者1名、重度知的障害の利用者1名を想定し行う、途中取り残された利用者を1名想定、見つけず、救助を失敗。

<冬の避難訓練 (12月24日) >

訓練要員13名 3階ダイルームからの出火を想定

- ・初期消火開始⇒初期消火失敗⇒避難誘導⇒寝たきり患者搬送 (担架)
- ・初期消火は水消火器を使用

<エマージェンシーコール運用訓練 (3月10日) >

<心肺蘇生法講習会 (3月17日) 15時～16時実施>

<トリアージ訓練 (3月21日) >

訓練要員20名 (熊谷生協病院職員20名) 大型台風の発生したことを想定し、訓練を実施した。

- **災害対策本部設置訓練**

評価：各部門からの報告と施設機能の被災状況の報告で院内の状況をおおまかに把握できた。

課題：指揮命令システムの再検討、災害時報告事項の統一化と職員周知。

- **トリアージ訓練**

評価：4事例実施。初めてのこともあり各人の役割や求められる判断に対応しきれなかった。

課題：さまざまな状況を想定した訓練が必要。トリアージタグと紙カルテの扱いの徹底。医師・看護師以外の職種の役割の明確化。